

月刊

# 建材

# ナビ

ナビ

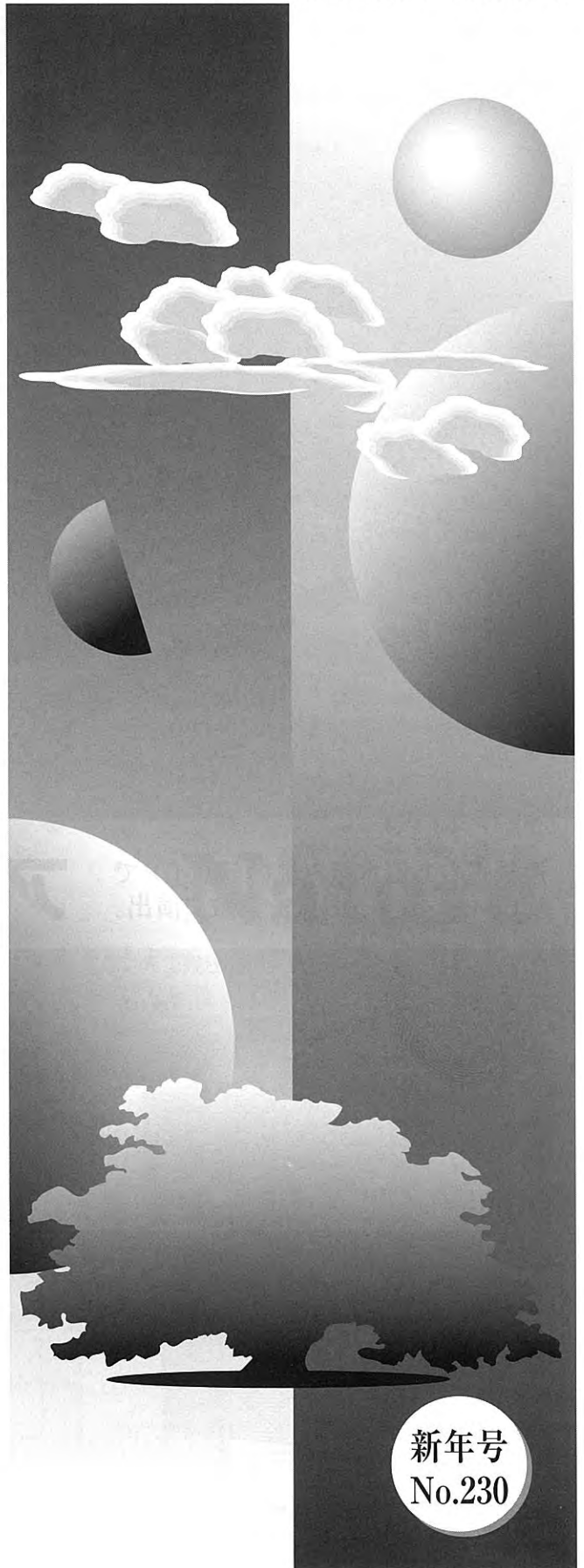
特集 人工木デッキ+ガーデンスルームに

期待する「空間エクステリア」

テラス・テラス囲い軸に高成長めざす

「ウォールエクステリア」

二〇一八年 年頭所感



新年号  
No.230

ミルト出版会  
〒182-0023 東京都調布市染地3-1-87  
ト-1-407号  
☎042-484-4507  
FAX 042-484-4509  
発行人 堤 祥行  
年間購読料 30,000円(送料・税込)

## 建材 navi 新年号 -No.230 目次

**特集** 人工木デッキ+ガーデンルームに期待する  
「空間エクステリア」/テラス・テラス囲い  
軸に高成長めざす「ウォールエクステリア」 13

[年頭所感] 3

[環境・健康建材コーナー] 10

[新製品・新技術情報/業界の動き] 20


© Miruto Shuppankai Ltd.2018 無断転載・コピーを禁ず

**建材市場動向、環境・健康・景観建材情報をお手元に!!**

FAX:042-484-4509までお申し込みください

キリトリ

月刊「建材navi」購読申込書

|   |    |   |   |
|---|----|---|---|
| 月刊「建材navi」を平成30年(2018年) <input type="text"/> 号(月号)より1年間購読します。<br>(年間購読料/送料・税込30,000円) |    |   |   |
| 貴社名   | 部署 | ご芳名   | 印 |
| 送付先   |    |  |   |
|   |    | FAX   |   |

## 年頭所感 2018年 あけましておめでとうございます (五十音順)

### 小松電機産業

「やくも水神」「happy gate 門番」  
「映像による平和事業構想」が  
飛躍の年——小松昭夫代表取締役  
兼 人間自然科学研究所理事長

新年にあたり、皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

戊戌(つちのえいぬ)は「変わり目の年」。

情報・物流・金融の変化が起こす三つ巴の嵐と、『中国版・経営実践手帳』『経営の道』(人民東方出版伝媒)出版を追い風に、クラウドの先駆け水の総合管理システム「やくも水神」、環境改善の象徴「happy gate 門番」、「映像による平和事業構想」が飛躍の年を迎えました。

2018年は第一次世界大戦集結100周年。朝鮮半島はじめ緊迫する世界情勢は「第一次世界大戦前と酷似している」と言われ、何もしなければ、私たちは人類史上最大の「戦前責任」を問われかねません。

創業42年の実績を背景に、『出雲で生まれた和譲』を蘇らせ、過去日本が併合した朝鮮民主主義人民共和国、大韓民国と3大核大国(アメリカ合衆国・ロシア連邦・中華人民共和国)そして世界の皆様に賛同いただける平和事業構想を作り、「対立の文化から共生の文化」への転換を促し、世界縁結びの地八雲立つ日本 出雲から世界恒久平和の流れが生まれるときがきました。

皆様の積極的なご参加をお待



ちしています。

### 三協立山(株)三協アルミ

高付加価値商品の販売  
拡大に向けた取組みを  
推進——中野敬司社長

昨年を振り返りますと、世界ではアジアや中東における地政学的リスクの高まりなどがあつたものの、好調な欧米経済に加えて中国経済が安定するなど、全体としては堅調に推移しました。日本経済においては、企業収益の回復と併せて設備投資が上向いてきたことや、雇用環境改善による個人消費の回復など底堅い動きとなりました。

当社の主力事業となる建材事業においては、アルミ地金価格が高い水準で推移するとともに、新設住宅着工戸数における持家はやや回復したものの、非木造の中低層建築需要が低調となるなど足踏み状態が継続しました。

本年は引き続き地政学的リスクや政治・経済情勢に影響を受ける為替・資材等の動向は見通しにくい状況が継続しますが、企業の設備投資意欲の高まりや雇用所得環境の改善が見込まれることから、市況は底堅く推移するものと考えております。

こうした中、当社は2017年にグッドデザイン賞とキッズデザイン賞を受賞したビル用基幹サッシ「MTG-70R」をはじめ、防火タイプのバリエーションを拡充したアルミ樹脂複合サッシ「アルジオ」、新インテリアシリーズ「リヴェルノ」

など、高付加価値商品の販売拡大に向けた取組みを推進してまいります。加えて、目標として掲げる「VISION 2020」の重点施策である「改装・リフォーム事業の強化」に引き続き取り組んでまいります。

ビル建材事業では、改装・環境分野を手掛けるSTER事業部を中心に、集合住宅や学校、病院などへの省エネ、環境リフォーム提案に注力してまいります。

住宅建材事業では、施工性を向上させたリフォーム玄関ドア「ノバリス」の市場認知度向上に向けた取組みを進めるとともに、全国展開しているリフォームネットワーク“一新助家”加入店との連携を強化し、お客様満足度向上に注力してまいります。

エクステリア建材事業では、後付可能なガーデンルームをはじめ、宅配便の再配達問題により、需要が高まっている宅配ボックス「フレムス」などの提案強化に注力し、エクステリアリフォーム需要の創出と市場拡大を目指します。

「海外展開」に関しては、台湾での営業・ブランド力の向上に注力するとともに、フィリピン、タイなど各拠点での販売拡大に向けた取組みを強化し、引き続きASEAN地域での事業展開を進めてまいります。

本年も、「三協立山株式会社」の中核を担う当社にとって実りのある年となるよう、「お客様・地域社会・社員」の協力のもと、お客様に喜びと満足を提供する企業活動を進めてまいりますので、変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



### 三和ホールディングス

#### 「動く建材」のグローバルメジャーとして飛躍できるよう努力——高山俊隆CEO

昨年日本において九州北部豪雨や台風などの被害、米国では大型ハリケーンの被害など世界各地で異常気象が発生した1年でありましたが、一方で国内経済は、非住宅着工及び企業の設備投資は堅調に推移しました。米国経済は、トランプ政権発足後も景気が拡大し、住宅市場は引き続き好調を堅持、設備投資も回復基調となりました。欧州経済は、英国のEU離脱問題に伴う先行き不透明感はあるものの、ドイツを中心に住宅・非住宅市場とも回復傾向に推移しました。中国やその他新興国を含むアジアは、輸出の好調と底堅消費を支えに堅調に推移しました。

このような環境下、三和シャッターをはじめとする国内グループにおいては、多品種化の推進と2016年6月に施行された防火設備の検査報告制度への対応に引き続き注力しました。4月には日本スピンドル製造株式会社より建材事業を譲り受けて三和スピンドル建材株式会社を設立し、間仕切事業の拡大を図りました。米国においては、ドア事業のさらなる拡大のため、代理店など主要な販売チャネルの一層の強化に努めました。欧州では、産業用ドア事業においては、物流倉庫需要の拡大に対応した生産能力の拡充やドックレベラーの内製化を



進め、ガレージドア事業ではノボフェルムUK社を完全子会社化し、英国事業の基盤強化を実行しました。アジアでは、各社間連携を強化し、日本技術を活かした高品質商品の提案に注力しました。アジア事業は将来のグループ成長の鍵を握る事業と位置づけており、引き続き利益体質の定着に注力してまいります。

本年は長期経営ビジョン「三和グローバルビジョン2020第二次3ヵ年計画」の最終年度を迎えます。本年は成年ですが、この干支は「誠実で努力家」という特徴があるそうです。当社においてもグループ一丸となって「安全・安心・快適」な商品・サービスを追求め、「動く建材」のグローバル・メジャーとして飛躍できるよう、誠実に努力を重ねてまいります。

### 三和シャッター工業

#### 間仕切・エントランス・防水商品を拡充——高山盟司社長

当社は、建築用建材商品を通じて安全・安心・快適を提供することにより社会に貢献する企業としてマーケットニーズを捉え、それに沿えるべく社員一丸となって取り組んでまいりました。

現在、「三和グローバルビジョン2020」の第二次3ヵ年計画において『確立した成長基盤を、更に各事業「強固なポジション」の確立を目指して挑戦を続ける3ヵ年」を経営方針に掲げ、多品種化への対応として、間仕切・エン



トランス・環境建材などの戦略商品の拡充を図っております。特に間仕切事業では、昨年4月にグループ入りした三和スピンドル建材と連携し学校間仕切の販売拡大の施策を展開しており、エントランス事業では、今年創業100周年を迎える三和タジマを始めとする国内グループ各社との連携により顧客および物件情報を共有し受注拡大を目指しており、防水事業では、顧客の多様なニーズに応えるべく品揃えの充実に注力しております。

また、生産性の向上および製品の品質向上を図るため積極的に製造設備の新規導入をしており、さらに、防火設備の検査報告制度への対応を含め工事力の強化のため、施工技術者の採用・育成に全社をあげて取り組んでいるところです。

本年も引き続き、業界トップレベルの製造技術力・商品開発力・工務力を結集し、安全・安心な商品とサービスをお客様に提供してまいります。

2018年は鋼材などの資材価格および労務費の上昇が懸念されるものの、東京五輪関連を中心に数々の大型案件が進捗すると予測されますので、さらに生産性を向上し、社員一同、将来に希望を持って「変動と挑戦」を合い言葉に全力を尽くして邁進する所存です。

### 四国化成工業

#### トータルを志向したモノづくりと空間づくり提案——田中直人副社長

昨年は、米国第一主義を掲げるドナルド・トランプ大統領の誕

生により、これまでのグローバルリズムからナショナルリズムが台頭してきた年であったように思いま



す。自由な経済活動を進めることが世界経済の成長につながる思想から自国の利益を優先することを打ち出したトランプ大統領の発言は、一昨年のブレグジットとともに世界に与える影響は大きかったとおもいます。一方、国内においては安倍内閣の信任によって、安定した政権の選択が経済活動にも一定の安心感をもたらす、株式市場にも好影響が生じたことは消費を下支えする環境として歓迎すべきことかもしれません。GDPはプラス成長を継続中であり、大企業の業況判断も改善され、建材に携わるものとして今年は内需に今一步の力強さが表れることを期待しています。

建材業界に影響の大きい住宅着工は、貸家住宅の一服感もあり翳りが見えはじめましたが、エクステリア市場は昨年を上回り堅調に推移しています。幾度なく申し上げてまいりましたが、住宅着工が減少した中、事業領域を創造してきたエクステリアは2000億円を超える市場規模に成長した分野であり、業界を挙げて自負すべきだと思います。日頃より新築の住宅を注視しておりますが、憧れの住まいを得たにもかかわらず、その顔であるファサードや庭空間に残念ながら趣のない住宅が数多く見受けられます。住まう人に「夢」を提案し、価値を認めていただくことを志向すれば業界の総和は必ず増大します。エク

ステリアの存在価値を高めることは、業界に携わる我々の使命であり、まだまだ伸びる余地を残していると思っています。

2018年は、弊社の強みを生かした堅実な成長戦略と高収益型事業の構築を進めてまいります。顧客視点に基づきトータルを志向したモノづくりと空間づくりの提案に努め、事業メッセージである「いつもの場所を、価値ある空間に」を実践し、微力ながらもエクステリア業界の発展に尽力してまいります。

### 寺岡オートドア

#### JIS対応品を持つメーカーの数が揃うことを期待する——吉田毅社長

2017年、弊社の出荷台数は、おかげさまでほぼ前年同様の数字となりました。2020年のオリンピック、パラリンピックに向けて首都圏の大型物件を中心とした需要はまだ続くものと伺っています。2020年をピークとするものの、その後も急激な需要の落ち込みはしないという観測も聞きます。景気が上向きという実感はないものの、相当の仕事量があることは有難いことです。

一方、物流コストの上昇は社会全体の流れかと思われませんが、弊社にとっても大きな課題となっています。特に自動ドア製品は重くて長いので、配送には大きな負担がかかります。梱包形態、出荷方法あるいは製品自体の軽量化など見直しを行なってまいります。



また、人手不足も経営上の大きな課題です。採用難は長期的なトレンドであるという認識のもと、採用に注力する必要があると考えております。事業の継続には、待遇、就業条件もさることながら、働く人にとって魅力ある企業となることが求められていると考えております。

昨年は自動ドアJISが制定され、そのスタートアップに備えて製品を用意しましたが、まだ市場への浸透はこれから時間をかけて進むものと思われま。やはり製品単体ではなく、現場設計と施工後の保全までが企画に含まれていることが、簡単には普及しない理由であるかもしれません。また、市場での健全な競争という観点からは、JIS対応品を持つメーカーの数が揃うことも前提条件となります。

新聞、テレビ等のメディアではAI、IoT、スマホを使った新しいビジネスの話題が尽きないですが、新しい技術を自動ドアに応用してどのような利便性、安全性を実現することができるか、開発のテーマとしてこれからも取り組んでまいります。

### ナブテスコ(株)住環境カンパニー

#### JIS対応新しい自動ドアシリーズ「NATRUS」を製販一体となり販売開始——上仲宏二社長

2017年も世界情勢において様々な変化があった年でした。年初には米国でトランプ大統領が就任し、TPP離脱を表明するなど、様々な政策転換が進められています。5月には韓国、6月にはフランスと、大統領交代が相次ぎました。残念なことに、今年一

年も国際的なテロが世界各地で勃発し、その脅威は依然継続しています。また、北朝鮮は4月から継続的にミサイル発射の挑発を繰り返し、東アジア、米国の緊張状態が続いています。



国内においては、10月の総選挙で第4次安倍内閣が発足、経済面においては「アベノミクス」加速への期待感が高まっています。建築・建設業界においては、東京五輪関連のインフラ整備や都市開発、中規模ビルの建て替え需要などが2020年に向けて加速していく期待が持てる一方、労働者の働き方改革の推進等による業界担い手確保・育成への期待も高まっています。

自動ドア業界では、本格的な高齢社会を迎え、自動ドアをご使用いただく方が安心して通行いただけるように、さらなる安全性が求められる背景から、全国自動ドア協会が主体となって、自動ドアの安全規格、「JIS A 4722 歩行者用自動ドアセット-安全性」が3月に制定されました。

私もナブコグループも自動ドア安全性向上のため専門委員会を設置、グループ内及びご使用いただいている顧客への安全啓蒙活動を強化してまいりました。また、更なる安全性を追求した、新しい自動ドアシリーズ「NATRUS（ナトラス）」を10月に発売し、既存商品からのフルモデルチェンジを実施いたしております。「NATRUS」は、「NABCO」と「TRUST（信頼）」をかけあわせた商品名であり、先進技術と高

品質なアフターサービスによって、“すべての人にやさしい自動ドア（だれでもドア）”の実現をめざします。「NATRUS」は、NABCOが60に亘って積み重ねてきた技術・サービス・安全基準をもとに開発したOnly Oneの製品となり、製販一体となって自信を持って販売を開始しております。

今後もナブコグループは、お客様のニーズにあった質の高い商品・サービスをタイムリーに提供し、お客様との密接な関係を大切にすると共に、成長や進化のために変化することを厭わない企業を目指して、グループ一丸となって日々まい進して参ります。

### 不二サッシ

経営理念の浸透した人間力こそ会社の原動力で、100年企業を目指す土台——吉田勉社長

国内の経済面では、堅調な海外経済の影響と底堅い企業業績に支えられ、長期に渡り回復基調が続いています。しかしながら、GDPの伸び率、個人消費などは1%台と低調であり、実感が乏しい景気を言われています。また、昨年は企業の不正問題が取立たされました。無資格者による完成検査問題や品質データ改ざんなど日本の製造業への信頼が揺らぐ事態となりました。

昨年の流行語の一つに「付度」があります。「付度」の本来の意味は「相手の気持ちを推し量る」ことであり、人間関係において潤



滑油となる大切な思考です。近年では本来の意味に加えて「相手の便宜をはかること」、「上司の指示命令なしに先回りして対処すること」などを含めた意味にとらえる傾向があるようです。しかし、これも行き過ぎると責任の所在を曖昧にしたり、ルールを逸脱したりする元となってしまいます。

2017年度、不二サッシグループは新たな4ヵ年の中期経営計画を掲げ、新体制で初年度のスタートを切りました。中間決算では、事業計画ベースをクリアしているものの、前年度対比では減収減益で折り返しています。会社の年度末は決算月の3月であり、今まさに最終コーナーを回り本決算に向けてラストスパートをかける時です。本中計においては、あらためてトップラインに拘り、グループ売上1000億円を突破していきたいと考えていますので、しっかりと目標を定め、成果に繋がる施策を打ち出したいと思えます。

本中計のテーマ「創造」の狙いは、2020年に迎える創業90年を通過点として、その先の100年企業を目指し存在感を示すための「基盤作り」です。私は社長就任以来、当社の経営理念の浸透に力を入れてきました。経営理念は当社グループのDNAであり、浸透した人間力は会社の原動力となり、100年企業を目指すための土台となるからです。

新年を迎え、私は経営理念の「私たちは」に始まる三つの行動規範を「社長は」に置き代えて反芻してみました。

「社長はお客様との絆を大切にし」「社長は心を込めた商品を世に出し」「社長は活力あふれる気

風づくりに努める」

今年は自ら率先して努力しているという思いを新たにしております。本中計のテーマ「創造」の狙いをもうひとつ掲げます。それは「顧客の創造」です。経営における有名な名言ですが、あらためて当社として「顧客の創造」のために何をすべきか、十分に論議し方針を導き出し、本中計の中に盛り込んでいきたいと考えています。

### 文化シャッター

2020年以降を見据え「エコ・防災」「ロングライフ」等5事業に注力——潮崎敏彦社長

さて、昨年の国内経済は、企業業績や雇用環境に改善傾向がみられるなど、景気全体として緩やかな回復基調で推移した一方で、新興国の成長減速をはじめ、北朝鮮情勢による地政学リスクにより、景気の先行きに対する不透明感は拭い切れない一年でした。

当業界を取り巻く建設市場環境は、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた関連施設の本格着工をはじめ、都市圏を中心としたインターネット通販の拡大に伴う大型物流倉庫や再開発プロジェクトなど、非住宅分野における大型案件の旺盛な建設需要を背景に底堅く推移するものと見ています。

このような環境にある中、2016年よりスタートした中期経営計画の3年目を迎える当社グループは「基幹事業」である「シャッター



関連製品事業」やドア・パーティションからなる「建材関連製品事業」のさらなる受注拡大に向けて、お客様の用途に応じて的確な提案を行うコンサルティングセールスを実践することで、より一層、当社グループ商品の複合販売を押し進めてまいります。一方で、2020年以降を見据えた成長戦略として、「エコ」と「防災」をキーワードに多彩なものづくりやソリューションを提供する止水事業を中心とした「エコ・防災事業」をはじめ、住宅のリフォームやビルの耐震工事などのリニューアルを手がける「ロングライフ事業」、修理・点検に加えて、防火シャッターや防火ドアなど防火設備の法定点検を押し進める「メンテナンス事業」、アジアを内需と捉え、特にASEAN市場をターゲットとした「海外事業」、特殊仕様のニーズにお応えする「特殊建材事業」の5つの事業を“注力事業”として位置づけ、さらなる強化・拡充を図ってまいります。その上で、既存の事業領域にとられない新製品の開発や新事業の創出、M & D等にも積極的に取り組むことで、当社グループの持続的な成長に向けた体制強化を押し進めてまいります。

なお、「エコ・防災事業」については、環境と防災をテーマに昨年7月に規模と機能を拡充してオープンした総合試験施設「ライフイン環境防災研究所」において、新たに導入した耐震試験装置や止水試験場などの試験装置や設備を有効活用していくことで、新しい時代に対応した新製品のスピード開発に繋げてまいります。

当社グループは、中期経営計

画の基本テーマ「進化する快適環境ソリューショングループ」の実現に向け、今後もお客様の暮らしに役立ち、社会に貢献できる製品とサービスの提供を追求してまいります。

今年の干支である「戌（いぬ）」は、「一印」と「戈（ほこ）」からなる字で、元は農作物を用具を使って収穫して締めくくることを現している意味があるそうです。お客様と当社グループにとりましても収穫の多き一年となりますよう、今年も変わらぬご支援ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

### LIXIL

グループが組織の俊敏さを高め、イノベーションを重視し、起業家精神の発揮を促進する4つの柱を策定——瀬戸欣哉社長兼CEO

2017年はLIXILグループにとって、国産初のシャワートイレの発売、システムバスの量産開始、そしてアルミサッシ・玄関ドアの一貫生産をスタートさせてから50年目を迎えた、まさにモノづくりの歴史において節目の年でした。これからも、起業家精神とメーカーとしてのイノベーションを重視した商品開発を進め、業界の発展に貢献していく所存です。

そのためにもLIXILグループは、引き続き持続可能な高い競争力を持ち、お客さまに長期的な価値を提供することができる企業を目指していきます。これは、ま



さにLIXILグループの企業理念である、優れた製品とサービスを通じて、世界の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献していくための事業活動であり、その実現に向けた取り組みを今後さらに強化していきます。

そして2018年は、新しい中期経営計画である「Toward Sustainable Growth(持続的成長に向けて)」のスタートの年となります。LIXILグループが、組織の俊敏性を高め、メーカーとしてのDNAであるイノベーションを重視し、起業家精神の発揮を促進するために、4つの柱を策定しました。

まず1つ目の柱は、「持続的成長に向けた組織づくり」です。LIXILグループは、変化に俊敏に対応できるような環境を構築するため、組織文化の変革を進めます。従業員が起業家精神を発揮し、活発な意見交換や実験的な取り組みが行えるような組織風土をつくるとともに、社会的に意義のある大きな目標の達成に向けて社員全員が一つになって活動していきます。

具体的には、「グローバルな衛生課題の解決」に向けて、2020年までに1億人の衛生環境の改善を目標に掲げており、昨年は「世界の衛生環境を改善しよう!みんなにトイレをプロジェクト」を実施、多くの方々のご賛同いただき、お客さまとLIXIL社員が一つになった活動ができました。今年に加えて、「水の保全と環境保護」「多様性の尊重」という3つの分野で、より未来への投資と戦略推進を継続していきます。

2つ目は、「魅力ある差別化さ

れた製品開発です」。変化する消費者ニーズや嗜好に対応できるよう、イノベーション、デザイン、品質を向上させた開発を追求していきます。また、短いサイクルで差別化された製品を市場投入できるよう「アセットライト」のビジネスモデルへ移行します。加えて、国内の組織構造の見直しを行い、製品開発、生産、販売の機能を一組織に統合することで、開発サイクルのスピード向上を図ります。また、ライフスタイル関連の業界で商品のコモディティ化が進んでいる中、今まで以上にエンドユーザーから選ばれる商品であることが大変重要だと考えています。そこで、LIXILに紐づく商品認知度を上げるため、2018年より、住宅用の窓やドアにはTOSTEM、トイレや洗面、水栓金具、タイルにはINAX、そしてガーデンルームやテラス、デッキにはEXSIOR(エクシオール)等、商品カテゴリーごとにエンドユーザーにダイレクトに価値を伝えたい強化ブランドを設定し、集中的、効率的なコミュニケーションを展開していきます。具体的には、カタログや広告プロモーションおよび商品等への積極的な表示を、今春の新商品から段階的に進めていきます。引き続きLIXIL商品の拡販ならびに、商品ブランドの浸透への多大なるご支援をよろしくお祈りします。

3つ目は、「競争力あるコストの実現」です。今まで以上に、新しい技術やインフラを活用していくことで、効率的で柔軟なサプライチェーン管理体制を構築し、コスト管理を向上させます。また開発においても、例えば、従来バ

ラバラだった商品のプラットフォームを統一することで、開発期間を半分に短縮させるなど、多面的にコスト競争力を高めていきます。さらに、部門横断的な開発を展開していくことで、潜在的な商品開発の可能性を効率的に展開していきます。

最後は、「エンドユーザー、インフルエンサーへのマーケティング」の強化です。インフルエンサーとなるプロユーザーに対しては、デジタル技術を活用し業務効率をサポートするなど、工事業者さま、デザイン・設計事務所さま、コントラクターさまをはじめとする、様々なお客さまとの接点を強化していきます。エンドユーザーに対しては、「リクシル PATTO リフォーム」をはじめとする新サービスを推進していくことで、新たな需要の創出を図ります。またネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)の普及促進や、IoTなどデジタルを活用した新サービスの提供を通じて、総合住生活企業ならではの住まいの価値を高めていく提案をしていきます。

#### YKK AP

アルミ樹脂複合窓「エピソード NEO-LB」発売し低層住宅市場の窓を高断熱化へ一気にシフト——堀秀充社長

2017年度のYKKAPグループの業績は、国内においては、高断熱窓化を推進し増収、海外では、米国中心に販売が好調に推移した一方でファサード事業が物件の端境期となり減収、グルー



プ全体では増収を見込んでおりません。

営業利益は、国内では販売増や継続的なコストダウン等の増収要因があったものの、原材料・資材価格の高騰等により減益、海外は請負物件の損失があり減益、グループ全体で減益を見込んでおります。

国内・海外の連結業績は、売上高は前年比3%増の4268億円、営業利益は23%減の214億円と増収減益を見込んでおります。

—2018年に向けて—

2018年は、海外では地政学リスクが続くものの、全体的には経済は緩やかな拡大が続くと見込まれます。また、国内では個人消費などの内需が堅調に推移し回復傾向が続くと見込まれますが、新設住宅着工戸数は中長期的な人口・世帯数の減少等による減少が見込まれます。

国内の建築市場ではエネルギー基本計画に基づき、ZEH・ZEBが要求され、普及ゾーンでも従来以上の高性能が標準仕様となり、開口部の断熱性能の重要性がますます加速する中、窓の高断熱化と高機能化により開口部あたりの付加価値アップを図ります。1月には、集合住宅でも進むZEH化への対応として、ビル低層集合住宅向けアルミ樹脂複合窓「エピソードNEO-LB」を発売。増加するストック住宅にも対応可能な「GRAF工法」を活かした改装用カバー枠も合わせて設定することで、低層住宅市場の窓を高断熱化へ一気にシフトさせてまいります。

また新設住宅着工戸数が減少

していく中、住宅市場は今後、新築からリノベーションに大きく移り変わっていく可能性があり、リフォーム分野については一般消費者の窓リフォームに対する認知度が低い現状において、TDYコラボレーションショールームも活用しながら、「健康」「断熱」「耐震」を軸に需要創造を図るとともに、より手軽にリフォームできる商品・工法などの研究・開発を継続し、リフォームにより生活を豊かにする提案を行ってまいります。

海外では引き続き商品技術力をベースに各国/地域の気候・風土に合わせた商品開発を行います。米国ではビル建材の全米展開、戸建て住宅用樹脂窓の既存エリアでの深耕により、さらなる事業の拡大を進めます。また、中国ではファブリケーターへの加工・組立・施工指導を行い、最終品質を高めるという独自のシステム販売ビジネスモデルによる差別化で、収益体質の強化を図り、インドネシアはミドルセグメント商品「fility」による拡販、インドではAP事業の本格展開を行ってまいります。また合わせて、海外物件の管理・監査体制を再構築いたします。

YKK APは、モノづくりと品質にこだわってまいりました。昨年は経済産業省から製品安全対策ゴールド企業に認定されました。これからも品質にこだわり、お届けする商品を通じて健康で快適な暮らしをご提案し、より豊かな社会づくりに貢献していきたいと考えておりますので、より一層のご支援とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

#### Y K K

カテゴリ・セグメントごとにニーズを掘り起こす——大谷裕明社長



2018年度のグループ経営方針——デジタル技術の進化に伴い短期間で従前の市場の仕組みが大きく変わる創造的破壊者やサービスの登場、また地政学上、政治の不透明さが広がる昨今は、変動性・不確実性・複雑性・曖昧性の時代と言われており、技術やサービスの栄枯盛衰の変化が激しくなっていると感じています。

我々YKKグループは不確実な時代だからこそ、お客様の声一つずつに耳を傾け、お客様が求める商品・品質・価格・サービスを実現するために、これまでのマーケットを大きな括りで捉えるマスマーケティング的な思考ではなく、カテゴリ・セグメント毎の顧客という最小ユニットで捉えて顕在・潜在ニーズを掘り起こす活動を展開してまいります。

その様なone-to-oneマーケティング的な思考で取り組みテーマを積み上げ、一つ一つ施策を実行していくことで、不確実性の中にあっても確実性のある事業戦略につなげていく事が必ず出来ると確信しています。YKKグループが事業展開する各地域のそれぞれの市場においても、成長市場・成熟市場別や価格帯別にある顧客要望の実現に両寮事業が全力を挙げて取り組んだ先に、第5次中期経営計画達成という結果が伴ってきます。

# [環境・健康建材コーナー]

LIXIL

## 「エクステリアコンテスト」応募 6706 作品から 大賞作品「(株)Wise」など入賞 316 作品決定

LIXIL(瀬戸欣哉)は、40回目の「LIXILエクステリアコンテスト2017」において、応募作品6706作品の中から大賞・各部門金賞・銀賞・銅賞、ニコニコ大賞、ライティング賞など入賞作品316作品を決定した。

□大賞作品:「(株)Wise」(愛知県、2017特別賞のライティング賞も受賞)——◇採用商品:門扉のプレミアエス、車庫まわりのプレミアエスゲートワイド、門柱アーチのコーピング、カーポートのアーキフィールド、プラスGのGフレーム・Gスクリーン・Gルーフトラスタイプ・ガーデンストレージ、エクステリアライトの美彩。

◇エクステリア&ガーデンアカデミー青山校長古橋宜昌氏の審査員コメント:道路境界線が緩やかな弧を描く扇形の敷地に対して、繊細に設計されたエクステリアが見事です。門まわりからカーゲートの範囲を建物と雁行型で設計することでゆとりが感じられる門まわりや車庫前スペースが確保できました。また、その中間に配した植栽スペースがクローズドプランにありがちな閉塞感を緩和してくれています。建物のバルコニーに使われている細い横筋格子をエクステリアのモチーフとして積極的に採用し、カーゲートの上部に取り入れているので建物とも調和はもちろん、オリジナリティのある作品に仕上がっています。照明も分散して効果的に配置されているので夜



のシーンも見応えがあります。セキュリティが気になるお客様に対するハイグレードなクローズドプランのお手本と呼ぶにふさわしい素晴らしい作品になっています。

□ニコニコ大賞作品(エクステリアと家族の幸せ部門):「シャイニーガーデン(株)二光さま」(福岡県)——◇採用商品:ガーデンルーム「エクシオール暖蘭物語」。◇エクステリア&ガーデンアカデミー大阪校校長藤山宏氏の審査員コメント:白系ピンクから赤系のツルバラや鉢植えの大輪、中輪咲のバラで囲まれている空間、本当に「暖蘭物語」にはバラが良く似合います。6年前から始まった庭づくりのなか7年目で今回「暖蘭物語」をつけて完成することができたとのこと。ここに至るまでにはさまざま

なこともあり、山あり谷ありの長い時間をご夫婦で歩んでこられたと思われまます。これからはスローライフ生活で残りの人生を過ごしていかれるというお二人の信頼感あふれる笑顔に乾杯ということで高い評価に繋がりました。



□各部門の金賞作品:◇ファサード部門「(有)アークふくしま」(埼玉県)——採用商品:門柱・アーチのテグラン Neo、フェンスのビクロス・ハイグリッド、カーポートのフーゴ・スペースガード、プラスGのGフレーム、ウッドデッキの樹ら楽ステージ、デザイナーズパーツのアレンジフレーム、エクステリアライトの美彩。◇自然浴部門「カエダスタイル(株)」(福岡県、2017年特別賞ライティング賞も受賞)——採用商品:プラスGのGフレーム・Gスクリーン、ガーデンルームのエクシオールコマ、エクステリアライトの美彩。◇まちなみ部門「(株)中央住宅戸建分譲設計本部」(埼玉県)——採用商品:デザイナーズパーツのウォールスクリーン・アレンジフレーム、エクステリアライトの美彩。◇エクステリアリフォーム部門「(株)創造工舎」(奈良県)——採用商品:ガーデンルームのエクシオールジーマ・ジーマテラス、ウッドデッキの樹ら楽ステージ木彫、手すりのアーキレール。

三協アルミ

## 「エクステリアデザインコンテスト」のデザイン大賞 「(株)neutral」、プランニング大賞 「住友林業緑化(株)熊本営業所」など計 321 点を選出

三協立山株式会社・三協アルミ社(中野敬司社長)は、販工店・ハウスメーカー・設計事務所を対象とした「エクステリアデザインコンテスト2017」の最終審査結果を発表した。

施工事例4部門とプランニング部門2部門への応募総数約3200点の中からデザイン大賞、プランニング大賞をはじめ各部門のゴールド・シルバー・ブロンズデザイン賞、奨励賞、特別賞の62点、地区優秀賞、入選を含め計321点を決定した。

□デザイン大賞「(株)neutral」(名古屋市)——使用商品:カーポートのM.シェード、シャッターゲートのパレオR型、門扉のラグレシア1型。□プランニング大賞「住友林業緑化(株)熊本営業所」(熊本市)——使用商品:「M.グロリア」、「UCHI-MIZU」、ガーデンフロア「ラステラ」等。

□各部門のゴールドデザイン賞——◇ファサード部門「(株)ナインスケッチ」(浜松市)。◇アウトドア部門「LUCENT(京都)COLOR GARDEN(岐阜)」(舞鶴市)。◇エクステリアリフォーム部門「(株)オカモトガーデン」(柏原市)。◇パブリック部門「(株)前田金網店」(四日市市)。◇プレゼンテーション部門「住友林業緑化(株)東海営業部DPG」(名古屋市)。◇パース部門「積水ハウス(株)名古屋西シャームゾン支店設



デザイン大賞



プランニング大賞

計課」(名古屋市)。

## 「ユニット掲示板」の耐風圧性能を $V_o = 38 \text{ m/s}$ 向上し発売

三協アルミ社は、「ユニット掲示板」の全シリーズをリファインし発売した。

特長は、全タイプの耐風圧性能を従来の  $V_o = 30 \text{ m/s}$  から  $V_o = 38 \text{ m/s}$  ( $1242 \text{ N/m}^2$ ) に向上させたほか、プッシュ錠にキーレス(簡易ロック)仕様を追加したこと。

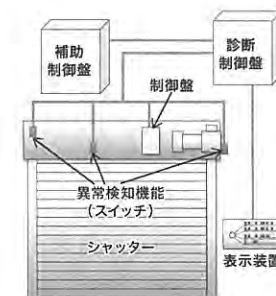
バリエーションは、「SPK-1型(ガラス引き違い式)」の屋根なしタイプ・屋根付きタイプ・壁掛けタイプ。「SPK-2型(はね上げ式)」の屋根なしタイプ・壁掛けタイプ。仕様:フロートガラス・強化ガラス、サンシルバー・ダークブロンズ、マグネットタイプの

ホワイトボード、LED照明(オプション)等。参考価格:SPK-1型の  $W1460 \times H1060 \text{ mm}$ 、屋根なし・フロートガラス仕様で20万7700円。

LIXIL 鈴木シャッター

## IoT活用の業界初のシャッター故障を事前検知する見守りシステム「シャッターまもるくん」新発売

LIXIL 鈴木シャッター(山田智社長)は、IoTの活用により商業施設の出入口などに設置されたシャッターの稼働状態を監視・管理し、故障を事前に検知する、業界初のシャッター見守りシステム「シャッターまもるくん」を新開発し、2018年6月全国発売する。



特長は、シャッターの5カ所に設置したセンサーが異常を検知し、直ちに診断機能ボックスの表示装置にある異常ランプで知らせること。

異常検知のセンサーは特許出願中。異常検知は、①スラット片寄り検知(軸受ブラケットのくり抜き、レールの引掛り等防止)、②シャフト横ずれ検知(シャフト脱落防止)、③過巻・逆巻検知(過巻、過降下による不具合防止)、

④ローラチェーンたるみ検知等。これらの異常検知が開閉機のメイン制御盤で判断された際に、自動切替予備制御盤から警告が出力され、一時的な開閉を可能にする。予定販売価格：既設シャッターW5000×H3000mmで28万5000円/箇所。

## ニチハ

住宅部門・非住宅部門のグランプリはじめ計19作品を選出



グランプリ住宅部門



グランプリ非住宅部門

ニチハ(山中龍夫社長)は、「NICHIIHA SIDING AWARD 2017」の応募総数378作品の中から、住宅部門・非住宅部門のグランプリ、プラチナ賞2作品・ゴールド賞2作品・入賞9作品・Fuge賞作品・リフォーム賞1作品・公共建築賞1作品の計19作品を選出した。

グランプリ住宅部門：「栃木県I邸/ポーラスターデザイン一級建築士事務所」。グランプリ非住宅部門：「埼玉県レクサスCPO浦和美園/術デザイン・ワーク」。

## 四国化成工業

グランプリの「セキスイデザインワークス(株)ザ・シーズンオフィス東京」「術茂川建築設計事務所」「峰岸設計工房」など入選作品選出

四国化成工業(玉城邦男社長・CEO)は、全国の販売工事店・設計事務所を対象にした「2017空間デザインコンテスト」を実施し、審査結果を発表した。24回目の同コンテストには、一般住宅、店舗、官民各施設の外構ならびに内装など幅広い分野から全国1588点の多彩な施工作品の応募があった。

地区審査を通過した作品の全国審査(審査員：金沢美術工芸大学教授・工博の坂本英之氏/薩田建築スタジオ・建築家の薩田英男氏/造景空間研究所所長の藤山宏氏/日本大学短期大学部准教授の山崎誠子氏)において、グランプリ3作品をはじめ全8部門のゴールド・シルバー・ブロンズの各賞、審査員特別賞、同社エリア入選作品を選出した。

■グランプリ作品——◇住宅エクステリア分野：「セキスイデザインワークス(株)ザ・シーズンオフィス東京」(個人邸・神奈川県/マイポートNext)。◇庭まわり：「white garden」(個人邸・広島県/ファンデッキHG)。◇景観の門・塀まわり：「(株)エクシス景観営業所」(ミニワールドスタジアム北九州・福岡県/スタックラインALG、大型門扉BGAL、大型フェンスALF)。◇公共空間：「(株)ADO建築設計事務所」(某公共施設/パーゴランド、ライズルーフLR、ユニットラインA等)。◇内装材：「左官工房山岸・(株)家元」(REVANTO・石川県/ルミデコール)。◇外装材・舗装材：「(株)アイケイディーエス」(湖の HOTEL・山梨県/けいそうモダンコート外装、リンクストーンM)。

■各部門ゴールド——◇アートウォール・エクサク：「セキスイデザインワークス(株)ザ・シーズン世

住宅EX分野

景観EX分野

内装材分野



田谷」(個人邸・東京都/アートウォール seed)。◇車庫まわり：「(株)田窪工業所高松営業所」(個人邸・香川県/マイポートNext)。◇庭まわり：「white garden」(個人邸・広島県/ファンデッキHG)。◇景観の門・塀まわり：「(株)エクシス景観営業所」(ミニワールドスタジアム北九州・福岡県/スタックラインALG、大型門扉BGAL、大型フェンスALF)。◇公共空間：「(株)ADO建築設計事務所」(某公共施設/パーゴランド、ライズルーフLR、ユニットラインA等)。◇内装材：「左官工房山岸・(株)家元」(REVANTO・石川県/ルミデコール)。◇外装材・舗装材：「(株)アイケイディーエス」(湖の HOTEL・山梨県/けいそうモダンコート外装、リンクストーンM)。

## 特集 人工木デッキ+ガーデンルームに期待する「空間エクステリア」/テラス・テラス囲い軸に高成長めざす「ウォールエクステリア」

住宅用エクステリア市場では、最新住宅スタイルにあった高意匠・高機能商品に注目が集まる。新たな切り口のファサードエクステリアは、「住宅の顔」にふさわしい空間づくりを提案する。建物と敷地全体をトータルコーディネートするエクステリアプランのひとつである。住宅外観を意識したガーデン商品、ウォール商品、さらに空間形成商品が求められている。

住宅用エクステリア市場は2016年度売上高2000億~2200億円で推定される。ガーデン分野が、機能門柱等を含む門扉約297億円・フェンス約558億円の計855億円、カーポート約467億円と、市場を牽引する。

一方のウォール分野は、テラス約191億円・テラス囲い約86億円の計277億円、ユニット式バルコニー約66億円・バルコニー手すり約160億円の計約226億円と、合わせても500億円規模にとどまる。

さらに、空間形成分野は、デッキ材約170億円・ガーデンルーム約30億円の計約200億円と推定される。ウォールに分類されているテラス囲いは、使われ方をみると空間形成商品にカウントしてもおかしくない。このような「空間形成」商品が、これからの住宅エクステリア市場を牽引すると思われる。

### ——デッキ材+空間形成商品——

#### 人工木デッキ+ガーデンルームの「空間エクステリア」約200億円

住宅外観から道路境界線までの領域にアウトドアリビング空間を創造する「空間エクステリア」は、ガーデン、ウォールにつづく第3の住宅エクステリア市場として成長が期待されている。

空間エクステリアは、もともとLIXILの「自然浴エクシオール」提案から始まり、最近では「ガーデンルーム」を対象にしている。一方で、「ガーデンルーム」と同じような扱いを受けている「テラス囲い」は、いまではほぼ終息した「サンルーム」の代替品として成長をつづけている。その主な利用目的である物干し場、アウトドアグッズ収納などの機能は「ガーデンルーム」も備えているが、「ガー

デンルーム」は、快適な室内空間をアウトドアに実現することをコンセプトに開発された点が大きな違いだ。価格面からも、ガーデンルームの低価格版として「テラス囲い」が採用されるケースが見受けられる。

このために「テラス囲い」に比べて、「ガーデンルーム」は浸透に手間取っている。2016年度「空間形成商品」売上高は約30億5000万円と推定される。このうち、LIXILが売上高20億円と圧倒的なシェアを占めている。

\* \* \*

一方、「ガーデンルーム」「テラス」と組み合わせで採用される「デッキ材」は、空間エクステリアのベース商品として高い成長率を堅持している。三協立山、四国化成工業、LIXIL、YKKAPの大手エクステリア企業はもとより、タカショー、文化シャッター、ユアサ建材工業、越井木材工業など多くの企業が扱っている。

2016年度「デッキ材」売上高は約170億円と推定される。新設住宅着工戸数の減少にもかかわらず成長を持続するエクステリア商品のひとつである。メーカー別には、LIXIL約75億円、YKKAP約45億円、三協立山約36億4000万円と上位3社を形成する。

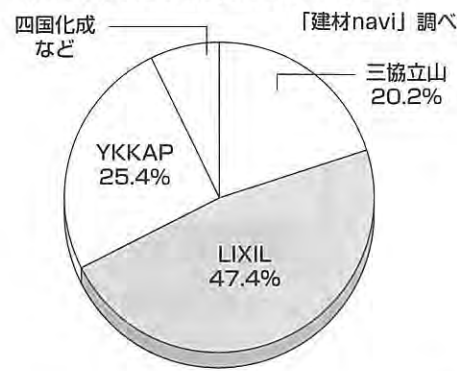
商品的には、木粉入り樹脂の人工木デッキがほとんどで、設計価格1㎡あたり4万円前後が売れ筋商品。「デッキ材」は、単独で使用されるだけではなく、ガーデンルームやテラスなどの床材として採用されることが増えている。アウトドアのリビング空間づくりに不可欠なアイテムとして更なる成長が見込まれている。

### ——ウォールエクステリア——

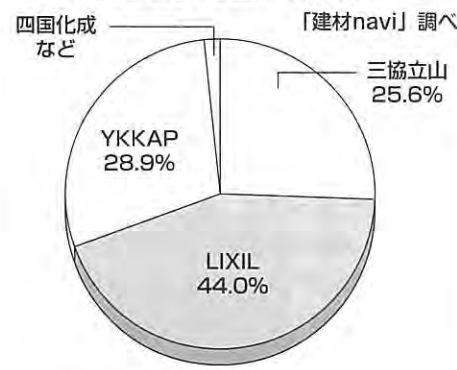
「テラス」「テラス囲い」約277億円、「ユニット式バルコニー」「ベランダ手すり」約226億円、計503億円

「テラス」や「テラス囲い」は、壁付き仕様のウォールエクステリア商品として扱われている。最近では「テ

2016年度 デッキ材及びガーデンルーム  
売上高 約200億5,000万円 (推定)



2016年度 テラス及びテラス囲い  
売上高 約315億円 (推定)



ラス」自体もデッキ材と一緒に採用され、空間形成アイテムのひとつとしての使われ方が増えている。

2016年「テラス」売上高約191億円、「テラス囲い」売上高約86億円、計約277億円と推定される。「テラス」は前年実績を下まわったが、「テラス囲い」が前年を上まわる実績を残している。

LIXILが約122億円(シェア44.0%)、YKKAP約80億円(シェア28.9%)、三協立山約71億円(シェア25.6%)の実績。

\* \* \*

2016年度「ユニット式バルコニー」売上高は約66億2000万円と推定される。LIXIL約35億円、YKKAP約23億円、三協立山約8億2000

万円。タイプ別には、柱なし40~20%、柱建て40~30%、屋根置き40~30%と推定される。

また、「ベランダ手すり」売上高は約160億円と推定される。三協立山、LIXIL、YKKAPの3社以外に、文化シャッターがビル・集合住宅用と同時に戸建住宅用手すりを扱っている。メーカー別には、LIXIL約84億円、YKKAP約51億円、文化シャッター約20億円と推定される。

\* \* \*

「風除室」は、LIXIL約12億円、YKKAP約8億円、三協立山約4億5000万円と推定される。北海道、東北、北陸の積雪地域を主力マーケットにする地域限定型商品の域を出ていない。

「オーニング」は、店舗向けを主体の文化シャッター(テンパル)が約15億5000万円でリード。戸建住宅向けのLIXILが約6億円、YKKAPが約3億円と推定される。戸建住宅用オーニングが普及しない理由のひとつに、日本家屋に多い遮光対策としての「ひさし」の存在が考えられる。

### 三協立山

#### 耐風圧強度を高めたテラス「レボリユーA・Z」を主力に拡販、木目調「ナチュレ」にパーゴラタイプ追加

【アウトドアリビング】 ■テラス— ◆テラス「レボリユーA・Z」: 2017年春にテラス「メニューウェル」をリファイン新発売。施工性を重視し、ねじ種を標準納まり3種・出幅移動納まり4種に集約、パネル上止め式の後付ビート削減などにより施工時間を短縮。普及タイプの「レボリユーA」の耐風圧強度は風速36m/s相当に設定。耐積雪量20cm相当、柱付き式(1階設置標準納まり・1階~3階設置出幅移動納まり)、柱なし式(1階・2階設置)。「レボリユーZ」は風速42m/s相当、耐積雪50cm相当(柱付き式・柱なし式)・100cm相当(柱付き式)のバリエーション。

◆木目調「ナチュレ」: テラスタイプにパーゴラタイプを追加設定。両タイプに、壁付け納まりに加え、躯体にネジ止めしない独立納まりと壁寄せ納まりを品揃え。カラーはトラッドパイン色にシルキーノーチェ色、オレンジチェリー色を追加。屋根パネルは2タイプ4色。前面パネル・目隠しスリートを設定。

■ガーデンルーム— ◆人気商品「ハッピーナ」: 新機能窓「ルーバー引戸」を追加。施錠したまま住宅壁面を伝う風を効率よく室内に取り入れることができることが特長。ルーバー状態の時、障子と障子の隙間が26mmと小さく、外から手を入れて解錠できない構造。◆関連商品「ペットゲート」(伸縮式コンパクト収納可能): ガーデンルーム「ハッピーナ」とガーデンテラス「スマーレ」にオプション追加。ルーバー引戸や折りたたみ戸用の網戸をガードし、ペットの逃げ出しを防ぐほか、家とガーデンテラスやガーデンルームの仕切りにも利用可能。

■デッキ— ◆ガーデンフロア「ラスセラ」: 庭の大きさや形状など設置条件に対応できる「台形納まり」「隅切り納まり」を追加。◆「人工木デッキ材」: 上質なマープル模様の4色を追加。「グランフロア」「スーパーテラスGT」「晴れもようII特注品」「ハッピーナ特注品」「スーパーエリーバ特注品」に対応。◆関連商品— ◆屋根パネル「熱線遮断ポリカーボネート板(かすみ調)タイプ」: テラス・囲い商品・ガーデンテラス・ガーデンルームに追加。

◆「床化粧材タイプ」: タイルのブロック調タイプとテラコッタ調タイプの2色を躯体バルコニー関連商品に追加。

【現況】 空間形成エクステリア「アウトドアリビング」は、ガーデンルーム「ハッピーナ」、ガーデンテラス「スマーレ」、木調テラス・パーゴラ「ナチュレ」、人工木デッキ「ひとと木II」、ガーデンフロア「ラスセラ」などを主力商品に需要拡大に力を注ぐ。

ガーデンルーム・ガーデンテラスと共に空間形成商品としてトータル提案される人工木デッキ「ひとと木II」は、1㎡あたりの設計価格4万2000円を売れ筋に堅調に推移している。

人気のガーデンルーム「ハッピーナ」は、ペットの遊び場からランドリールームまで幅広く活用できる空間商品として需要獲得に取り組んでいる。売れ筋価格帯は95万円。

一方、テラスは、「レボリユーZ」は、1500タイプ・3000タイプの高強度仕様を主力タイプに、テラス囲い「晴れもようIII」と共に成長をつづけている。高強度仕様は、近年の荒れる天候の影響からユーザーが選択するケースが増えているもので、従来品の「メニューウェル」シリーズを「レボリユー」シリー

三協立山: 高意匠・高強度  
多目的ルーフ・アウトドア  
のガーデンテラス使い提案



ズにリファインした。テラス囲い「晴れもようIII」は、土間仕様・デッキ材仕様・デッキON仕様を揃え、物干しや物置として活用されている。

ウォールエクステリアでは、バルコニーの柱なしバルコニー「コーデリア」・柱建てバルコニー「スーパーエリーバ」、手すり「コープレイJr」などが主力商品。その他にも、北海道、東北、北陸などの積雪地域を中心に「風除室」、オーニング「カフェリオ」(工場組立品)と「ラクシェード」(シンプルデザイン・簡単施工・安価)を展開する。

### 四国化成工業

#### 「F.リード憩」「アレグリアテラス」「ファンデッキHG」を主力商品に「リビングエクステリア」空間創造

【リビングエクステリア】 ■ガーデンルーム— ◆ガーデンルーム「F.リード憩」: ルーフタイプ(デッキON仕様・土間仕様) / キューブタイプ(デッキON仕様・土間仕様・腰壁仕様、バリアフリー仕様) / テラスタイプの3タイプ。共通仕様耐積雪20cm相当・50cm相当。パネルタイプは3mm厚フロートガラス(網入ガラス・線入りガラス・型板ガラス・樹脂パネルの特注対応)。オプションに前面パネル、柵セット、シェード、LED照明、竿掛けセットなど用意。

◆「ハイパーバトリス」: 木質樹脂タイプ2色・アルミタイプ1色。パネルバリエーションは、縦格子、ルーバー、採光、横格子、ラチス、可動ルーバー、グリーンメッシュなどの各タイプ。◆「グランバトリス」: アルミタイプ・塗り壁タイプ。木質樹脂製梁部材のパーゴラタイプと屋根付きタイプ。前面スタイルに柱



のみ・腰パネル・可動ルーバーパネル・ラチスパネル。  
 ■テラス—◆植栽と調和する木調デザイン「アレグリアテラス」：垂木の連続感が美しい木組デザイン。細部まで木調カラーで統一していることが特長。カラーは、セピアブラウン・マロンブラウン、ライトブラウンの3色。屋根材はポリカーボネート板と熱線吸収ポリカーボネート板の2タイプ。耐積雪20cm相当仕様と、50cm相当の高強度仕様(母屋2本構造)を用意。

◆「スマートトップ」：建物への穴あけ不要の独立施工タイプ。後柱仕様・前柱仕様・中柱仕様の3タイプ。カラー基本3色、セミオーダー木調5色・ビビッド4色。屋根材に熱線吸収ポリカーボネート板採用。◆「バリューテラスE」：バルコニーや物干しスペース、カーポートなど様々な用途に使用できる汎用性に優れたテラスの主力商品。デザインがRタイプとFタイプ。カラー3色。中間柱のないワイドサイズ(屋根幅1860～5500mm)を追加。あらゆる敷地に合わせて施工できる特殊納まり専用部材を用意。◆「パーゴテラス」(母屋のない屋根構造で縦のラインを美しくみせ、梁の連続感を印象づける木組みデザイン。後柱仕様・前柱仕様。本体：ステンカラー、屋根材：熱線遮断ポリカーボネート板)。◆ストックヤード「勝手ヤード」(勝手口スペースを有効活用。サイドパネルにアルミ6デザイン・木質樹脂8デザイン)。

■デッキ材—◆木質樹脂デッキ「ファンデッキHG」：ブラウン系3色に、天然木の色合いにと質感にこだわった「ティンバーカラー」5色追加、計8色にバリエーション強化。チャコール、ウォールナット、チーク、オーク、ヒノキの5色。幕板30mm厚仕様・10mm厚仕様、アルミ幕板10mm仕様を用意。すき間8mm～18mmまで対応可能な「すき間カバー躯体用ネジ止め式」追加。ドライバー1本で中間部分のデッキ材を簡単に取り替えられる施工性の良さと耐久性が特長。用途に合わせて高さを選べる専用の木調フェンス・門扉を用意。◆バルコニー設置可能な「ファンデッキHG低床タイプ」(高さ100mmから165mmまで対応)。◆店舗・公共施設にも採用できるアルミ補強高強度タイプ「ファンデッキSGタイプ」(耐荷重3500N/m<sup>2</sup>)。◆関連部材：アルミ材製「スロープユニット」/手すり「セイフ

四国化成・ガーデンルーム「F・リード憩」キューブタイプのバリアフリータイプ



ティビームFD型」(木粉入りASA樹脂被膜アルミ材製) / 「ハイパーフェンス・ハイパー門扉」 / 「ハイパーテーション」等。

【現況】 住まいの内と外をつなぐ「リビングエクステリア」を提唱。ガーデンルーム「F・リード憩」と、細部まで木調カラーで統一したテラス「アレグリアテラス」、さらに木質樹脂デッキ「ファンデッキHG」を主力商品に浸透を図っている。

ガーデンルーム「F・リード憩」は、ルーフトップ、テラスタイプ、キューブタイプの3タイプを品揃えしているが、その中でも売れ筋商品は、折りたたみ戸(段差10mmのバリアフリー仕様)で屋根下全体を囲めて、空間を広く使うことができる「キューブタイプ」。腰下や足元を目隠しする腰壁仕様、耐積雪50cm相当の高強度仕様を追加するなど、バリエーションを強化している。

また、デッキ材は、木質樹脂デッキ「ファンデッキHG」を主力に展開する。ブラウン系3色と色合いと質感にこだわった「ティンバーカラーシリーズ」5色の計8色を揃えていることが特長。76色の「SKセレクトカラー」に代表されるシコクの豊富なカラーバリエーションは、大きなセールスポイント。植栽と調和する木調デザインの「アレグリアテラス」との組み合わせで、自然で快適な庭まわりを演出する。デッキ材の売れ筋価格は、1㎡あたり3万9000円の標準仕様。

一方、テラスは、アール屋根形状のRタイプと、フラット屋根のFタイプを用意する「バリューテラス」を主力商品として展開する。まだ採用実績は僅少だが、耐積雪50cm相当の高強度タイプも品揃えしている。

## LIXIL

### ガーデンルーム「エクシオールジーマ」「エクシオールココマ」を主力に 空間EX市場の創造・拡大リード

【エクシオール】 ■新商品—◆ガーデンルーム「エクシオールジーマ」(軒プラスFタイプ)：屋根を外へ拡張し、三方(前面・右面・左面)に内天井を取り付け、軒下空間をつくり出す新スタイル。フルオープン・フルクローズの折戸パネルを採用。軒下スペースは靴やアウトドアグッズなどの置場に活用できるほか、雨が吹き込みにくくパネルを開けて雨音を楽しむ使い方も可能。このほかに、内天井が日差しを防ぐ「軒ルーフタイプ」、空が見える「採光ルーフタイプ」のバリエーション。

◆「タイルデッキ」：アルミ基礎部材にタイルを接着剤張りする乾式工法を採用。モルタル施工や養生期間が不要なため省施工と工期短縮を実現する。住宅の床下換気口をふさがずに設置できるので、室内の床とデッキ高さをほぼ同じにすることも可能。タイルは、厚さ20mm(耐荷重1800N/m<sup>2</sup>)・600角の上質の大判タイル。カラーはアイボリーとブラウンの2色。タイルデッキのステップは2段まで設置可能。オプションにワンタッチ施工で簡単に取り付けられる「美彩シリーズ」のシンプルラインライトを用意。

◆バルコニーの「ベランダ手すり モダンパネル」シリーズ：「Natural Style」に天然木の美しさと優しさを再現した「ゆらぎ横面材」「ゆみなり横面材」を追加。カラーは、浮造り調を忠実に再現した「チーク」「チェスナット」とグレイッシュオークの3色。ブラック色を笠木・柱に追加。

◆非住宅空間向け「独立オーニング」：独立型フレームシステムで、単体・直線3連棟・L字3連棟・田の字連棟など、様々な用途・敷地条件に対応できることが特長。カフェやレストランのテラス席の日除け、高齢者向け福祉施設の憩いスペースに最適なオーニング。フレーム一辺の幅は2m・3m・4mの3サイズ。柱施工に一般的な埋め込み仕様と、土間コンクリートにベースプレートで固定するベースプレート仕様を用意。溝付き柱の設定で、照明高さを自由に決め、配線を隠してすっきりと納められ



LIXIL：ガーデンルーム「エクシオールジーマ」に屋根を拡張、軒下空間をつくる「軒下プラスFタイプ」

る。本体カラー4色(シャイングレー・アイボリー・ホワイト・ブラック・柿渋)、キャンパスの材質5種41色を用意。オプションでエクステリアライト「美彩シリーズ」「Gスクリーン縦格子タイプ」の取り付け可能。

■ガーデンルーム—◆「エクシオールココマ」(ガーデンルームの重点商品のひとつ。ガーデンルーム・サイドスルー・オープンテラスの各タイプ。腰壁タイプ・L字壁タイプ。耐積雪20・50・100cm相当)。◆「エクシオール暖蘭物語」(フルガラス折戸パネル仕様の高級品。耐積雪20・50cm相当)。◆「エクシオールフィリア」(狭小地に対応する普及価格の多目的利用ガーデンルーム。インナーデッキ、土間・デッキ、テラスの各仕様、耐積雪20・50相当)。

■人工木デッキ—◆「樹ら楽ステージ 木彫」(2016年度グッドデザイン賞を受賞。特許技術により天然木の自然な風合いと繊細な木質形状をリアルに再現していることが特長。1本1本の溝が光の当たり方で変化する表裏・上下反転の柄4パターン・カラー4色)。◆「樹ら楽ステージ」(高さ46×幅175mm、クリエカラー5色、豊富なバリエーションを用意)。◆「レストステージ」(高さ46×幅195mmの幅広の床材を採用・手軽さとシンプルさを追求したデッキ)。

■テラス—◆「スピーネ」(スタンダードテラスの最進化形。一般地域用・積雪地域用・多積雪地域用。耐風圧強度=風速1F 34m/s相当・2F 37m/s相当・3F 39m/s相当)。◆「シュエット」(木目調テラス・木目調5色。耐積雪20・50cm相当)。◆「パワーアルファ」(ワンランク上の強度を実現。

耐風圧強度＝風速 42 m/s 相当・耐積雪 30・50・100 cm 相当)。◆「フーゴFテラス」(躯体にネジ止めの不要な独立タイプ)。◆「クリアーフ」(後付けひさし) / 「モダンアート」(玄関照明をひさし本体に組み込んだL型、シャープなデザインのV型) / ナーラ屋根「ナーラテラス」(スタンダードなポリカ波板仕様)。

■テラス囲い・サンルーム——◆「サニージュ」(テラス囲い。縦すべり出し窓・採風ドア・ガラスルーバー窓を使用し風を効率的に取り込む独自の開口使用が特長)。◆「スピーネストックヤード」(勝手口スペース向けのテラス囲い。パネルタイプ・波板タイプ)。◆「ルームトラス」(オールシーズン対応のサンルーム)。◆「囲い上手」(波板ユニット) 等。

■バルコニー・ベランダ手すり——◆バルコニー「ビューステージSスタイル」(柱なし) / 「ビューステージHスタイル」(柱建て) / 「ビューステージFスタイル」(庭置き式扉付き)。◆「ベランダ手すりモダンパネル」(ナチュラルスタイル・パネルスタイル・スリットスタイル)。◆「ハンドラインⅢ」/ 「バー手すりⅢ」/ 「ベランダ手すりⅡ」等。

■風除室——◆「ツインガードⅢ」(玄関前に上質なエントランス空間を創造)。■オーニング——◆壁付けタイプ「彩風C型」(テラスタイプの住宅向けスタンダード商品)等。◆独立タイプ「独立オーニング」(店舗・パブリック空間向け) 等。

【現況】 住宅エクステリアのリーディング企業として、ガーデン分野、ウォール分野につづく空間エクステリア「自然浴生活エクシオール」の市場拡大に取り組んでいる。

「自然浴生活エクシオール」を構成するガーデンルームは、テラス囲いやサンルームのような囲い商品とは設計コンセプトがまったく異なり、室内外に一体感をもたせた新たな空間形成商品。「エクシオールジーマ」と「エクシオールココマ」を重点商品として展開する。

また、デッキ材では新たに「タイルデッキ」を発売しバリエーションを強化した。売れ筋商品は、人工木デッキ「樹ら楽ステージ」。ガーデンルームをはじめ、テラス、テラス囲い、オーニングなどと組み合わせたトータルな空間形成商品として成長を続けている。

テラスの主力商品は、一般地域から多積雪地域まで対応する「スピーネ」と、木目調の「シェット」。テラス囲い「サニージュ」は、風を効率よく取り込む独自の開口仕様の採用で販売量を伸ばしている。バルコニーは、ユニット式3対造り付けタイプ7の比率。ユニット式バルコニーは、柱なし30%弱、柱建て40%、屋根置き30%強の販売割合。新築よりもリニューアル需要へシフトしつつある。オーニングでは、非住宅向けの「独立オーニング」を発売し、新たな需要獲得に乗り出した。

## Y K K A P

### 家1棟外観をトータルコーディネートするエクステリア商品「ルシアス」シリーズを軸にバリエーション強化

【空間形成商品/ウォールエクステリア】 ■新商品——◆バルコニー「ルシアス バルコニー」: 家1棟の外観をトータルコーディネートするエクステリア商品「ルシアス」シリーズに登場したユニット式バルコニー。従来のユニット式バルコニー「アネーロ」「BC-X」を統廃合し、15年ぶりに全面リニューアル発売した。設置パターンは、持ち出し式、屋根置き式、柱建て式、柱建庭置納まりの4タイプ。デザイン11種・カラーアルミ色5色・木調色4色。特長は、バルコニーの桁・梁下面に設けた蟻溝を利用し、外壁やバルコニーを加工することなく、日よけ「アウトアーシェード」などの後付け機能商品を簡単に設置できること。安定した品質のユニット式バルコニーの木調デザインが、サイディング貼りの躯体式バルコニーと同等コストで実現。

◆「ルシアス ルーフ」: 後付け商品。耐積雪150cm・100cm・50cm仕様。化粧パネルデザイン4種・カラー6色。◆「ルシアス フラワーボックス」: 従来品のフラワーボックス7FBとFB-2を統廃合、ルシアスシリーズにリニューアル。デザイン3デザイン・カラー4色。

◆「エルビュート ハンドレール」: 独自の面材接着技術により、スリムなフレームとビードレス化で面材の連続感を演出する新ハンドレール。四辺支持、格子付き四辺支持、二辺支持、DPGパネルのバリエーション。

■空間形成商品——◆空間システム商品「リレー

リア」(2階バルコニーを含む建物外観から道路・境界までの中間領域に快適空間を創造するモジュール型システム商品)。◆ガーデンテラス/ガーデンルーム「アウトアーーフ」(プライバシーを確保し、くつろぎの空間を演出)。◆「サザンテラス」(近年のトレンドであるナチュラルテイストに対応した木調デザインのテラス/バルコニー屋根。「パーゴラタイプ」「フレームタイプ」を用意)。◆「サンフィールⅢ」(テラス空間の囲い商品。高級グレードのガーデンルームタイプも用意)。■デッキ——◆再生木デッキ「リウッドデッキ200」(簡単施工のスライド固定方式を採用、全4色)。

■テラス——◆「ヴェクター」(ルシアスバルコニー対応屋根のテラス屋根が耐風圧性能基準風速 $V_o = 30 \sim 40 \text{ m/s}$ 、耐積雪20・50・100cm相当)。同躯体式バルコニー持ち出し屋根が耐風圧性能基準風速 $V_o = 30 \sim 40 \text{ m/s}$ 、耐積雪20・50cm相当)。◆「エフルージュグランZERO」(躯体から独立したT字構造。耐風圧・基準風速38 m/s (自社基準、耐積雪20 cm相当)。◆「エフルージュ大型テラス」(最大間口6 m・最大出幅3.9 mのサイズ設定。壁付タイプ・独立タイプ)。

■テラス囲い——◆「サンフィールⅢ」(スタンダードタイプにテラス囲い・躯体式バルコニー囲い・バルコニー囲い。耐積雪100 cmまで対応する木調ガーデンルームタイプ)。

■バルコニー——◆「ルシアスバルコニー」(シンプルな汎用品から高意匠の中高級品まで単一商品で対応する)。■バルコニー用手すり——◆「ルシアスハンドレール」(木調) / 「エルビュートハンドレール」(高意匠) / 「トラディションハンドレール」(ロートアイアン調) / 「ハンドレールⅡ」(普及品) 等。

■オーニング——◆「サンブレロ」(Type 01 住宅用角度設定可能 / 02 住宅用標準 / 03 店舗用 / 04 小窓用。テント生地・防汚テントとポリエステル製の2種)。

【現況】 家1棟の外観・外構をトータルにコーディネートする「ルシアス」シリーズを中心に、エクステリア商品のバリエーション強化を進めている。門扉・フェンス、カーポートのガーデン分野、バルコニー・テラスのウォール分野、さらには建物外観から道路



YKK AP: 「ルシアスバルコニー」、シンプルな汎用品から高意匠の中高級品まで単一商品で対応

境界までの中間領域の空間形成分野をカバーするトータルデザイン商品。

その中でも、空間システム商品「リレーリア」、「サンフィールⅢガーデンルームタイプ」等と再生木デッキ「リウッドデッキ200」のトータルコーディネート提案で、新たなエクステリア需要の獲得を進めている。デッキ材の売れ筋商品は1㎡あたり3万6500円の「リウッドデッキ200」。発売以来、成長をつづけている。また、空間商品は、「リレーリア」木調アルミカラー、「アウトアーーフ」テラスタイプ、「サザンテラス」パーゴラタイプを展開する。

テラスは、一般地域用 $600 \text{ N/m}^2$  ( $30 \sim 34 \text{ m/s}$ )タイプが販売全体の90%を占めている。最近の台風や大雪被害の増加で高強度タイプが徐々に増えつつある。同時に、アウトドアリビング志向の高まりでデッキ納まりが増えていることも特徴。

テラス囲いは、「サンフィールⅢ」のスタンダードタイプと木調ガーデンルームタイプを主力に展開。デッキ材と組み合わせ、比較的安価にアウトドア空間を実現できることも成長を支えている要因のひとつ。

一方、ユニット式バルコニーと造り付けタイプの販売割合は1対9と、ほぼ造り付けタイプにシフトしている。ユニット式バルコニーは、「ルシアスバルコニー」を主力商品に展開する。タイプ別には、柱なし40%、柱建て30%、屋根置き30%の販売比率。造り付けタイプに対応するベランダ手すりは、最新住宅スタイルに対応した高意匠の「ルシアスハンドレール」「エルビュートハンドレール」などバリエーションを強化、高成長を堅持している。

## 【新商品・新技術情報】／業界の動き

LIXIL

業界初の樹脂製上枠・縦枠を採用し  
熱貫流率0.89を実現した高断熱  
玄関ドア「グランデル2」を全国発売

LIXIL（瀬戸欣哉社長）は、業界初の樹脂枠を採用し熱貫流率0.89W/(m<sup>2</sup>・K)の国内最高クラスの断熱性能を実現した高断熱玄関ドア「グランデル2」を2018年4月2日全国発売する。

商品構成は、熱貫流率0.89～1.23W/(m<sup>2</sup>・K)のハイグレード仕様・3デザインと、熱貫流率1.28～1.59W/(m<sup>2</sup>・K)のスタンダード仕様・10新デザインの全27デザイン。カラーは、天然木の質感を再現した浮造り調4色をはじめ、人気の木目調9色、アルミ色4色の全17カラーを用意。

ハイグレード仕様は、上枠と縦枠にホロー内に断熱材を入れた樹脂枠を採用、また下枠のアルミ型材にサーマルブレイク構造を採用した構造。ドアパネル厚は60mm。室外側と室内側をLow-Eガラスで構成するトリプルガラス仕様（中空層アルゴンガス封入）で樹脂スペーサー採用。この高断熱性能に対応する窓商品は「サーモスX」「エルスターX」「レガリス」。

一方、スタンダード仕様は、上枠と縦枠にサーマルブレイク構造を採用。ドア厚60mm、ガラスはアルゴンガス封入のLow-E複層ガラス仕様、樹脂スペーサーを採用。対応窓商品は、「サーモスX」「エルスターS」。

玄関ドアの主力商品「ジエスタ2」のk2仕様・k4仕様は、「サーモスII-H」「サーモスL」に対応する。価格は、片開きドアのハイグレード仕様70万円～76万円／スタンダード仕様35万4000円～58万4000円。

### 玄関ドアや窓シャッター等の建材とAIスピーカーを連携させた国内初の「住まいのIoT」を新開発

LIXILは、家電やデジタル機器だけではなく、玄関ドアや窓シャッターなどの建材までIoT技術でつながる住まいのリンクシステム「住まいのIoT」を開発、2018年4月新発売する。

新システムは、エネルギーの使用状況の見える化や家電機器の遠隔操作を可能にする「ホームコントローラ」と、センサやカメラによって見守り・防犯を可能にする「リンクコントローラ」、両者を一括連携

する「ルーター」で構成する。これによりAIスピーカーやスマートフォンアプリによる一括管理・コントロールを可能にするもので、建材とAIスピーカーが連携したシステムは国内初のこと。



特長は、①家中の照明やエアコン、給湯設備、窓シャッター、玄関ドアの開閉などの遠隔操作が可能。②AIスピーカーによって様々な設備を一括管理する。AIスピーカーに一声かけるだけで、照明・エアコンをオフにしたり、シャッターを閉めることも可能。③玄関ドアの開閉との連動（アシストルール機能）も可能で、帰宅時に玄関ドアを開けると同時に照明を点灯させる設定もできる。

④各種センサやカメラを一括管理し、外出先からスマートフォンで自宅を見守ることや、玄関に設置したIPカメラの人感センサにより子どもの帰宅や不審者の侵入などをすぐさま動画付きメールで確認することもできる。⑤ガス・電気・水道の使用量で生活状況を把握。その生活パターンを読み取っておすすめの電力会社や電力プランを知らせることも可能。

### 環境省主催の「COOL CHOICE LEADERS AWARD」で「リフレム リプラス」が環境大臣賞受賞

LIXILは、環境省主催の「COOL CHOICE LEADERS AWARD」(第1回)において、窓リフォーム商品「リフレム リプラス」が「環境大臣賞」を受賞した。「COOL CHOICE」とは、2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、あらゆる「賢い選択」を推進する政府主導の国民運動として提唱されているもの。

選考理由は、「リフレム リプラス」の最短60分という施工時間で断熱窓への交換ができることは、消費者、工事業者の双方にとって大きなメリットがある。また今後の窓リフォームの拡大に貢献する可能性が大きいとコメント。



## 街並みに美しい“衝撃”

門扉フェンスの新・スタンダード「シンプレオ シリーズ」。  
デザイン性とコストパフォーマンスを高い次元で両立させました。

## シンプレオ シリーズ

YKK AP株式会社

一般のお客様 ☎ 0120-20-4134 建築・設計関係者様 ☎ 0120-72-4134

●受付時間/月曜～土曜9:00～17:00(日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)

<http://www.ykkap.co.jp/>

YKK  
AP